（参考様式）（第19条関係）

記載例

維　持　管　理　計　画

作成日　　　　　年　月　日

|  |  |
| --- | --- |
| 太陽光発電施設の設置場所 | ○○市○○○○丁目○○ |
| 事業者名（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名） | （個人の場合）長野　〇〇（法人の場合）長野市〇〇丁目〇〇　㈱　〇〇　代表取締役　〇〇 |
| 保守点検責任者 | 氏名及び住所 | ●●保守管理会社　○○市○○○○丁目○○　 |
| 電話番号 | 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 |
| 合計出力 | 　　〇　　kW |
| 維持管理の内容 | 別紙のとおり |
| 施設撤去予定日（事業終了予定日） | 令和〇年〇月〇日 |
| 損害保険の加入状況 | ☑有　　　□無（保険内容　自然災害　電気的・機械的事故の対応） |
| 太陽光発電施設を撤去する際の対応 | ・太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼する。・植栽により森林に戻す予定・FIT法の廃棄費用積立制度に基づく廃棄費用の外部積立を実施 |
| 維持管理計画及び状況の公表方法 | ・（例１）標識に掲示・（例２）https://～にて公表 |

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

　〇強風による飛散

　　・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

　〇豪雨による水害

　　・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

　・事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県など）に連絡をする。

　・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないよう対策を講じる。

＜別紙＞

太陽光を電気に変換する施設

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 該当の有無 | 点検箇所 | 点検項目 | 点検方法 | 点検頻度 | 点検実施日 |
| 太陽電池アレイ | ☑ | 太陽電池モジュール | 表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。 | 目視 | 年〇回 |  |
| 端子箱に破損、変形がないか |  |  |
| フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。 |  |  |
| ☑ | コネクタ | 破損、変形がなく確実に結合されている。 |  |  |
| ☑ | ケーブル | 配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。 |  |  |
| 配線に過剰な張力、余分な緩みがない。 |  |  |
| ☑ | 電線管 | 破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。 |  |  |
| ☑ | 接地線 | 接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。 |  |  |
| 接続部に緩み、破損がない。 |  |  |
| ☑ | 架台 | 基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。 |  |  |
| 架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。 |  |  |
| 積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。 |  |  |
| ボルト、ナットの緩みがない。 |  |  |
| 固定強度に不足の懸念がない。 |  |  |
| 接続箱 | ☑ | 本体 | 著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。 |  |  |
| 固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。 |  |  |
| 雨水、じんあい等の侵入がない。 |  |  |
| ☑ | 配線 | 配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。 |  |  |
| 漏電遮断器 | ☑ | 本体 | 著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。 |  |  |
| ☑ | 配線 | 配線に著しいきず、破損がない。 |  |  |
| パワーコンディショナー | ☑ | 本体 | 著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。 |  |  |
| 固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。 |  |  |

　以下、記載例略

**※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。**